# 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日


上場会社名　英和株式会社　　上場取引所　東
コード番号　9857　URL　http://www.eiwa-net.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 阿部　健治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長　(氏名) 山枡　理伸　TEL 06-6539-4801

四半期報告書提出予定日　平成25年11月13日　配当支払開始予定日　平成25年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第2四半期 | 12,124 | 0.6 | 109 | △34.2 | 135 | △18.8 | 65 | △17.7 |
| 25年3月期第2四半期 | 12,058 | △2.9 | 166 | △20.7 | 166 | △21.1 | 79 | △36.2 |

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　100百万円　(196.9%)　25年3月期第2四半期　33百万円　(△73.3%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期第2四半期 | 10.35 | ― |
| 25年3月期第2四半期 | 12.58 | ― |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年3月期第2四半期 | 16,391 | 6,909 | 42.2 |
| 25年3月期 | 17,446 | 6,859 | 39.3 |

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　6,909百万円　25年3月期　6,859百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期 | ― | 5.00 | ― | 8.00 | 13.00 |
| 26年3月期 | ― | 5.00 | | | |
| 26年3月期(予想) | | | ― | 8.00 | 13.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 28,000 | 4.1 | 610 | 7.4 | 610 | 7.1 | 317 | 1.3 | 49.00 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 26年3月期2Q | 6,470,000 株 | 25年3月期 | 6,470,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年3月期2Q | 135,740 株 | 25年3月期 | 135,680 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 26年3月期2Q | 6,334,266 株 | 25年3月期2Q | 6,334,326 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……２
（１）経営成績に関する説明 ……２
（２）財政状態に関する説明 ……２
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……３
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 ……３
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……３
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……３
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……３
３．継続企業の前提に関する重要事象等 ……３
４．四半期連結財務諸表 ……４
（１）四半期連結貸借対照表 ……４
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……６
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 ……６
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 ……７
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……８
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……９
（継続企業の前提に関する注記） ……９
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……９
（セグメント情報等） ……９
（重要な後発事象） ……９
５．補足情報 ……11
生産、受注及び販売の状況 ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間（平成25年４月１日から平成25年９月30日まで）におけるわが国経済は、政権交代後の金融緩和をはじめとする経済政策への期待感などから円安や株価上昇が進行し、企業収益や個人収益が改善に向かうなど、景気持ち直しの兆しが見られたものの、新興国経済の減速や輸入原材料価格の高騰等の影響から、国内景気の下振れ懸念は払拭されず、先行き不透明なまま推移しました。

当社グループの既存事業領域である石油化学、鉄鋼、機械製造業界等においては、生産や輸出の増加に伴って企業の収益は改善され、設備投資に回復の動きが見られるものの、投資ペースは緩やかで、設備の統合や企業合併、国際分業等も進み、投資の減速懸念が依然として残っております。

このような状況下、当社グループにおきましては、新たに策定した中期３ヵ年経営計画にて、「経営資源の有効活用による新たな成長への挑戦」を経営基本方針に掲げ、産業構造の変化に対応した強固な経営基盤作りを推し進めました。顧客密着営業の強化を重点営業戦略とし、FAシステムや情報通信・ネットワーク機器、メガソーラー関連付帯機器等の販売強化、オイル清浄度管理他品質管理分野への取組みに注力いたしました。

また、当社グループの重点市場と位置付ける研究開発市場においては、各拠点からもたらされる現場情報の共有と活用により顧客の開拓と深耕を推進し、中国市場においては、リプレース需要への対応に加え、省エネや合理化設備の拡販を促進し、収益基盤の拡大に邁進してまいりました。

その結果、中国現地法人の業績が好調で、国内市場でもメガソーラー関連付帯機器や一部震災復興需要を含む公共投資に伴う路面清掃車等の産業車両の売上が増加し、当第２四半期連結累計期間の売上高は121億24百万円（前年同四半期比0.6％増）となりました。利益面におきましては、新規設備投資の減少による価格競争の激化等により利益率が低下し、売上総利益18億63百万円（前年同四半期比2.4％減）、営業利益１億９百万円（前年同四半期比34.2％減）、経常利益１億35百万円（前年同四半期比18.8％減）、四半期純利益65百万円（前年同四半期比17.7％減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ10億54百万円減少し163億91百万円となりました。これは、売掛債権の回収が進んだことを主因として現金及び預金が前連結会計年度末に比べ17億76百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が29億52百万円減少したことによるものであります。

一方負債の部では、前連結会計年度末に比べ11億４百万円減少し94億81百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が14億76百万円減少した一方で、長期借入金が５億11百万円増加したことが主な要因であります。

純資産は剰余金の配当による減少が50百万円、その他有価証券評価差額金の増加が24百万円、四半期純利益が65百万円であること等により、前連結会計年度末に比べ50百万円増加し69億９百万円となりました。その結果、自己資本比率は42.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は32億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億76百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、13億79百万円となりました。（前年同四半期連結累計期間は47百万円の増加）これは、売上債権の減少額29億86百万円に対し、仕入債務の減少額が14億91百万円であったことが主な要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、10百万円となりました。（前年同四半期連結累計期間は71百万円の減少）これは主に、有形固定資産の取得による支出が７百万円、無形固定資産の取得による支出が２百万円あったことによるものであります。

これにより、営業活動によるキャッシュ・フローと、投資活動によるキャッシュ・フローをあわせたフリー・キャッシュ・フローは、13億69百万円のプラスとなりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、３億98百万円となりました。（前年同四半期連結累計期間は１億３百万円の減少）これは、長期借入による収入が６億50百万円、長期借入金の返済による支出が１億50百万円、短期借入金の減少が50百万円あること、配当金の支払額が51百万円あることが主な要因であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの事業領域においては、公共投資や民間企業の設備投資に回復の動きが見られ、受注高は計画通り堅調に推移していることから、平成26年３月期の通期連結業績予想につきましては、現時点では平成25年５月13日に発表いたしました業績予想通りであります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## ４．四半期連結財務諸表
### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成25年３月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成25年９月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,446,082 | 3,222,585 |
| 受取手形及び売掛金 | 12,464,564 | 9,511,729 |
| たな卸資産 | 433,248 | 522,024 |
| その他 | 261,629 | 283,340 |
| 貸倒引当金 | △1,225 | △928 |
| 流動資産合計 | 14,604,298 | 13,538,750 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 1,499,085 | 1,480,513 |
| 無形固定資産 | 76,497 | 66,597 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 1,329,198 | 1,352,581 |
| 貸倒引当金 | △62,836 | △47,029 |
| 投資その他の資産合計 | 1,266,361 | 1,305,551 |
| 固定資産合計 | 2,841,945 | 2,852,662 |
| 資産合計 | 17,446,243 | 16,391,413 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 8,886,437 | 7,409,739 |
| 短期借入金 | 50,000 | － |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 150,000 | 140,000 |
| 未払法人税等 | 46,418 | 44,722 |
| 賞与引当金 | 279,824 | 189,324 |
| 役員賞与引当金 | 13,000 | 6,268 |
| その他 | 230,044 | 218,942 |
| 流動負債合計 | 9,655,724 | 8,008,996 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 533,858 | 1,045,190 |
| 退職給付引当金 | 264,756 | 289,040 |
| 引当金 | 131,604 | 137,798 |
| その他 | 680 | 680 |
| 固定負債合計 | 930,898 | 1,472,708 |
| 負債合計 | 10,586,623 | 9,481,705 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成25年３月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成25年９月30日） |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,533,400 | 1,533,400 |
| 資本剰余金 | 1,567,550 | 1,567,550 |
| 利益剰余金 | 3,741,449 | 3,756,331 |
| 自己株式 | △48,602 | △48,626 |
| 株主資本合計 | 6,793,797 | 6,808,655 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 74,770 | 99,602 |
| 為替換算調整勘定 | △8,947 | 1,450 |
| その他の包括利益累計額合計 | 65,822 | 101,052 |
| 純資産合計 | 6,859,620 | 6,909,707 |
| 負債純資産合計 | 17,446,243 | 16,391,413 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自 平成24年４月１日<br>至 平成24年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自 平成25年４月１日<br>至 平成25年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 12,058,098 | 12,124,711 |
| 売上原価 | 10,147,604 | 10,260,729 |
| 売上総利益 | 1,910,494 | 1,863,981 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,744,058 | 1,754,507 |
| 営業利益 | 166,436 | 109,474 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 973 | 1,223 |
| 受取配当金 | 3,814 | 3,911 |
| 仕入割引 | 6,694 | 6,634 |
| 為替差益 | － | 2,999 |
| 保険返戻金 | 2,671 | 21,765 |
| その他 | 4,077 | 3,856 |
| 営業外収益合計 | 18,231 | 40,390 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4,704 | 4,005 |
| 支払保証料 | 9,635 | 7,843 |
| 為替差損 | 845 | － |
| その他 | 2,602 | 2,516 |
| 営業外費用合計 | 17,787 | 14,365 |
| 経常利益 | 166,880 | 135,498 |
| 特別利益 | | |
| 有形固定資産売却益 | 250 | 575 |
| 特別利益合計 | 250 | 575 |
| 特別損失 | | |
| 有形固定資産除却損 | 1,505 | 685 |
| ソフトウエア除却損 | 213 | － |
| 投資有価証券評価損 | － | 1,400 |
| 特別損失合計 | 1,719 | 2,085 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 165,411 | 133,988 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 17,411 | 34,924 |
| 法人税等調整額 | 68,311 | 33,507 |
| 法人税等合計 | 85,722 | 68,432 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 79,688 | 65,555 |
| 四半期純利益 | 79,688 | 65,555 |

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自 平成24年４月１日<br>至 平成24年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自 平成25年４月１日<br>至 平成25年９月30日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 79,688 | 65,555 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △48,731 | 24,832 |
| 為替換算調整勘定 | 2,987 | 10,397 |
| その他の包括利益合計 | △45,744 | 35,229 |
| 四半期包括利益 | 33,943 | 100,785 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 33,943 | 100,785 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | ― | ― |

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自 平成24年４月１日<br>至 平成24年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自 平成25年４月１日<br>至 平成25年９月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 165,411 | 133,988 |
| 減価償却費 | 40,093 | 37,059 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △1,503 | △16,104 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | 26,107 | 24,284 |
| 役員退職慰労引当金の増減額（△は減少） | 6,439 | 6,194 |
| 受取利息及び受取配当金 | △4,787 | △5,134 |
| 支払利息 | 4,704 | 4,005 |
| 有形固定資産売却損益（△は益） | △250 | △575 |
| 有形固定資産除却損 | 1,505 | 685 |
| 無形固定資産除却損 | 213 | － |
| 投資有価証券評価損益（△は益） | － | 1,400 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 2,790,949 | 2,986,201 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | △114,363 | △88,019 |
| その他の流動資産の増減額（△は増加） | △51,662 | △57,745 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △2,395,051 | △1,491,828 |
| その他の流動負債の増減額（△は減少） | △200,231 | △92,260 |
| その他 | 7,797 | △24,676 |
| 小計 | 275,370 | 1,417,476 |
| 利息及び配当金の受取額 | 4,688 | 5,062 |
| 利息の支払額 | △4,462 | △5,215 |
| 法人税等の支払額 | △228,271 | △37,805 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 47,325 | 1,379,517 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △38,022 | △7,901 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 250 | 2,000 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △6,839 | △2,868 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △20,814 | △684 |
| その他 | △5,855 | △945 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △71,280 | △10,400 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | △28,141 | △50,000 |
| 長期借入れによる収入 | 128,141 | 650,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △140,000 | △150,000 |
| 自己株式の取得による支出 | △17 | △24 |
| 配当金の支払額 | △63,186 | △51,002 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △103,204 | 398,973 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 948 | 8,411 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △126,209 | 1,776,503 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,829,784 | 1,446,082 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,703,574 | 3,222,585 |

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループは、工業用計測制御機器、環境計測・分析機器、測定・検査機器、産業機械等をユーザーへ販売（一部製造販売）することを事業としております。取扱商品の内容、販売市場、販売方法、サービスの提供方法が類似している事等から判断して、当社グループの事業区分としては単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

株式取得による会社等の買収

当社は、平成25年８月29日開催の取締役会において、東武機器株式会社の株式を取得し子会社化することについて決議を行い、同日付で株式譲渡契約を締結しておりましたが、平成25年10月１日付で全株式の取得を完了いたしました。

１．株式取得の目的

当社は、工業用計測制御機器、環境計測・分析機器、測定・検査機器、産業機械の総合商社として、顧客密着営業による商権拡大、販路拡大に努めてまいりました。現在では国内に35か所の営業拠点を有し、仕入先と顧客を繋ぐ商社という機能だけでなく、ベストな商品を提供する提案型技術商社としてあらゆる顧客や業界に幅広く営業を展開しております。

一方、東武機器株式会社は、工業用計測制御機器を始めとする産業オートメーション機器・システムの販売だけでなく、電気・計装工事にも対応したきめ細かな営業と長年の実績に基づいた提案力を有し、東北エリアにおいて安定した営業基盤を構築しております。

今般の株式取得により、お互いの強みを共有することでシナジー効果も大きく、当社グループの東北エリアにおける営業基盤の強化が実現できると考えております。

２．株式取得の相手先の名称

小山　武光　他

３．対象会社の概要等

| | |
|---|---|
| 名　　称 | 東武機器株式会社 |
| 所　在　地 | 宮城県仙台市青葉区落合１丁目１４－１６ |
| 代表者役職・氏名 | 代表取締役社長　小山　武光 |
| 事　業　内　容 | 工業用計測制御機器を始めとする産業オートメーション機器・システムの販売<br>エンジニアリングサービスの提供<br>電気工事の請負、設計並びに施工 |
| 資　本　金 | 45百万円 |

４．株式取得の時期

平成25年10月１日

５．取得する株式の数及び取得後の議決権比率

| | |
|---|---|
| 異動前の所有株式数 | ―株（議決権比率　―%） |
| 取　得　株　式　数 | 78,000株（議決権比率　100.0%） |
| 異動後の所有株式数 | 78,000株（議決権比率　100.0%） |

５．補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第２四半期連結累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

| 品目別 | 生産高(千円) |
|---|---|
| 工業用計測制御機器 | 79,507 |
| 産業機械 | 93,911 |
| 合計 | 173,418 |

(注) １　上記は製造を行っております連結子会社(双葉テック㈱)の合計金額であります。
２　上記金額は製造原価によっております。
３　上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第２四半期連結累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

| 品目別 | 受注高(千円) | 受注残高(千円) |
|---|---|---|
| 工業用計測制御機器 | 112,824 | 48,388 |
| 産業機械 | 102,951 | 85,191 |
| 合計 | 215,776 | 133,579 |

(注) １　連結子会社(双葉テック㈱)において受注生産を行っております。
２　上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第２四半期連結累計期間における品目別の販売実績は、次のとおりであります。

| 品目別 | 販売高(千円) |
|---|---|
| 工業用計測制御機器 | 6,609,675 |
| 環境計測・分析機器 | 1,165,907 |
| 測定・検査機器 | 788,512 |
| 産業機械 | 3,560,616 |
| 合計 | 12,124,711 |

(注)　上記金額には、消費税等は含まれておりません。